

▶高速道路が無料（ドイツ）で地続きのヨーロッパなので、トランポやキャンピングカーで気軽に移動できるのが羨ましい。



▲キャンプ場のような会場なのでバーベキューはもちろん、焚き火もOK。



▲手前は走りまわられる舗装路。奥がキャンプしたリバイクを展示する会場。
▲4MINIが主役のイベントだけど、こんな3輪バイクも楽しめるアウトホームな雰囲気最高。



▼突然始まるゼロヨン大会なんてのもある。「ケガは完全自分持ち」ってところが羨ましい。



会場の雰囲気はこんなイベントです

参加者は金曜日から日曜日まで3日間滞在する人が多く、会場はキャンプ場のような空き地。舗装部分とダートや原っぱもあるので、走りたい人は舗装路で、キャンプは原っぱまでという感じだ。

THE
4MINI
WORLD
SURPRISING
DISCOVERY
vol.11
Germany

ヨーロッパ最大の4MINIイベント 10ヶ国から500台が集まる Neussは毎年台数激増!

これまで何度もヨーロッパの4MINIファンをご紹介してきたが、今回はいよいよ、ヨーロッパ最大と言われる4MINIイベントをご紹介しよう。ドイツやオランダなど10ヶ国ほどから500台が集まり、3日間もブツ通して開催されるこのイベント。そんなヨーロッパの4MINIファンが見逃せない「Neuss」とはどんなイベントなのでしょう？



We went to the 4MINI event, 'Neuss', which was recognized as a maximum scale in Europe. Neuss is also the name of a town in west Germany near Dusseldorf or Köln, very close to the border of Belgium. The climate around Neuss is similar to Hokkaido in Japan. The weather is warm and pleasant in daytime, and suitable for camping. We Moto-Champ have held the 4MINI event, 'Suzuka 4MINI Paradise' in Japan. Some of unique differences are found between 2 events. First one is the session time. Japan holds the event for one day while Neuss for three. Second one is the content. Japan focuses on more the exhibitions of the vehicles but Neuss enjoys riding their 4MINI. And lastly, in Neuss commonly see only Monkey and DAX whereas in Japan Gorilla and Chaly in addition to.

- Date: 20~21. sep. 2008
- Place: neuss(Germany)
- Translation: Keizo Kagaya(KA-HA-TradingGmbH)
- Special thanks : C.F.POSH(Tokyo&Osaka)
- Photo&Report: Tsuyoshi Chiwa



「毎年増えてるんだ」 「4MINIは人気だね〜」

Neussの主催者、Norbert Bueschgens（ノーバート・ブッシュグンズさん）（49歳）に聞いたところ、このNeussは2000年から毎年開催され今年で8回目。当初の参加者は150台だったが、今は500台と毎年増加しているという。参加者はドイツはもとより、オランダ、ベルギー、スイス、オーストリア、イギリス、フランス、ルクセンブルクなど、周辺各国から集まっており、金曜から日曜の昼まで、3日間続くイベントとなっている。



▲ライン川に近いことから、運河には船舶もたくさん。港湾都市のような雰囲気なのだ。

▼イベント会場から徒歩10分くらいにNeussの街がある。



▶こんな景色もすぐ近くなので、ドイツ観光を兼ねて来年見学に来てみては？

Neussって、 どんなトコ？

ドイツ西部の街Neuss（ノイス）。日本人も多く居住するドゥッセルドルフや、ケルンションが開催されるケルン、ベルギーとの国境に近い街だ。気候は北海道と同じくらいで、9月中旬の今回は晴ればTシャツで過ごせるが、夜は冷え込む。汗をかくこともないので、キャンプにはもってこいな気候なのだ。会場から徒歩10分以内にホテルや街があるので、4MINIファンアナタ、来年ドイツ観光を兼ねて見学してみてもいいかもしれませんよー。



▲Neussは日本人も多く居住するドゥッセルドルフからも近い。

▼会場から徒歩5分でビジネスホテルがある。取材班には嬉しい便利さだ。



We interviewed Mr. Norbert Bueschgens who was the organizer of the Neuss. Neuss was started in 2000 and greeted the eighth by this year. From 10 neighboring countries of Germany, about 500 4MINIs were gathered this year. For about ten minutes walking from the event site to the town of Neuss. The hotel was 5 minutes on foot and a very convenient place. The participants enjoyed various ways such as the barbecue, camps, the information exchange, exhibitions of the vehicle, and DrugRace or more. They, Europeans, may be the number one in the world of enjoying it with 4MINI.

カリスマSHOPの最新カスタム登場!



Hot Shot Monkeys
http://www.hot-shot-monkeys.de

以前に本誌でも登場した4MINI界のカリスマ、ブROOM氏が率いるホットショットモンキーズの最新作。全身ブラックアウトされ、オリジナルティーマッチなカスタムは大きな注目を浴びて、マフラーやクラッチレバー、ダブルディスクなど、購入可能なアイテムは大ブレイクの予感。

▲ホットショットにあるレーザーを使った工作機器で刻印されたタンク。上下のチェッカー模様までザラザラした表面となっており、質感も仕上がりが最高級だ。

▲ホットショットのオリジナル、ダブルディスクが採用された倒立フォーク。キャリパーもホットショットの刻印入りで、リムにも刻印が施されている。

The super famous shop, 'Hot Shot Monkeys' in Nahe, northern Germany, produced the latest Monkey custom. It has many notable parts such as the LED embedded lever, the muffler (exhaust) which can adjust volume in one-touch, the stamp by laser cut, and double disc brakes etc.

▲こんなデモ車でも社長のブROOM氏はゼロヨンに参加します!

過激な走りとアクションも夜通し続きます!



▼超高速ウイリーをキメまくって、最後はストッピーでシメてくれた彼。こんなツワモノが何人もいるから驚きます。

高速ウイリー、ストッピー、サオ立ちウイリーにバーンアウト。突如ゼロヨンが開催されたりと、エキサイティングなシーンがアチコチで巻き起こるのもノイズの特徴。まったくパーベキューとドキドキのシーンがメリハリあって刺激的です。

▼4MINI系ミーティングではあまり見かけないバーンアウト。明け方に会場に行く、右下のような痕跡がアチコチに。日本のイベントじゃ、確実に叱られますね〜。

▼上の超高速ウイリーに対抗するように、こちらはサオ立ち茶で攻めまくります。

▲突然始まるゼロヨンも迫力。ノーヘルやノーグロブの人、大丈夫ですか〜? トコロ変わればルールも違う。日本じゃセッターNGですけどね。

There are people doing burnout or wheelie at the high speed. There are a lot of people who can do a high-level acrobat in this event. The European 4MINI fan has a stronger tendency to see the importance in actually riding a bike in comparison to Japan. (reference: ornamental purpose in Japan) Drug Race which several bikes line up to compete, cannot be done in a public road therefore people compete from the heart in such an event site. It's very exciting to watch.



Owner Jurgen Heim
(38歳・ドイツ)



Jurgen Heim(38 / Germany) DAX (HONDA). The feature is that he uses an engine of the DAX not Nice110. It carries SuperHead of SP Takegawa, and beautiful plating (chrome) and the paint attract attention to this DAX. He is a member of Dax Monkey Tuning Team.

DAX & Monkey Tuningteam という4MINIのSHOPのスタッフさん。このお店はキタコやGクラフトの代理店もしていて、そんなワケでキタコのシャツを着ています。ドイツではナイス110のエンジン(腰下)を搭載するのが大定番ですが、あえてノーマルの腰下やスイングアーム、フロントフォークなどを使用。車高もあえて高めとし、走りのポテンシャルを確保。

▶ストライカーのマフラーをチョイス。このモンキーはほぼ日本製パーツだけで仕上げられているのも特徴的だという。



A.Komandriow (33 / Germany) Monkey (HONDA). This is the vehicle which Mr. Matsuba of G craft who is on study visit from Japan likes the most. It is unusual to remodel the Z50A which has high scarcity value into the disk brake, and used a lot of Japanese parts and the rare bottom case.

こちらも日本パーツ多用!

視察に来ていたGクラフトの松葉さんにお気に入りを1台選んでもらったところ、「うちのパーツは付いてないんですが、中国製パーツを使っていなかったり、ココでは珍しいストライカーのマフラーを選んでいたたり、なにより、この型のモンキーをディスク化するのには勇気が必要で、珍しいボトムケースを使用していたり、うまくまとまっていますね。」と解説してくれた。

▼おそらく、ハンドルを折り畳めない仕様の海外向け「Z50K2」だと思われる車体。隅々までとても美しいのも感心。



Owner A.Komandriow
(33歳・ドイツ)

Gクラ 松葉さんお気に入りは純日本仕様なモンキーです



▲ノイズに視察に来ていた松葉さん(左)とオーナー(右)。4MINIのカスタムは言葉を超えて世界を結んでますね〜。

◀「猿」と書きたくて「候」のようになってしまったらしいので、松葉さんがホントの漢字を教えてくださいました。

会場を抜け出てツーリングに行くのもアリ!

なにしろ3日間も開催されるイベントなので、買出しはもちろん、プチツーリングに出かける4MINIもちらほら。小まわりが利く4MINIだから、チョイと街にパーキングして観光したり、いろんな楽しみ方のあるイベントです。

▶はたしてココがパーキングOKなのかはわかりませんが、ノイズの中心部にDAXが2台。もちろん彼らもイベント参加者です。

▼こっこの4MINIは走ってナンボ、みたいなのがあって、とにかくみんな走りまわります。



The participants ride a bike to the nearby town or go shopping because the event of Neuss runs for three days. It is one of the ways to enjoy the event to go with friends for a short ride something like 1 hr. It seems to be very pleasant since the weather is nice and warm, and the scenery is beautiful





Owner
Dennis
(24歳・ドイツ)

▲農耕機用のタイヤは4.00-10サイズ。舗装路はガクガクしてしまうハズですが、ダートやマディーは無敵でしょ。

農耕機器用 パドルタイヤ装着のDAX!

楽しく草ムラを走りまわったデニス君。ドイツの国旗が入ったニットや、世界大戦当時のヘルメット、車体のカラーなどアーマーティスト満点なところが気に入。この笑顔を見ればどれだけ楽しいか伝わってくるでしょ?

Dennis Lanbenshlager (24 / Germany) DAX (HONDA)
This DAX in military color wears a tire of a tractor with the matching military sweater and the helmet. He ran around in the dirt course happily.

Thomas Rohloff (44 / Germany) Monkey (HONDA)
As for this Monkey, special finish called the black powder or distinctive headlight are characteristics. A small switch is built-in on a handlebar and becomes the simple, stylish finish.



Owner
Thomas Rohloff
(44歳・ドイツ)

ブラックパウダーと オレンジのコンビネーションが 絶妙なモンキー!



つや消しブラックに見える部分はブラックパウダーという特殊仕上げのマシン。オレンジとブラックの絶妙なコンビネーションも個性的ですが、じつは182cc仕様となっており、「FCRキャブ」の装着が大変だったんだ。マニホールドを6mmツメたんだからねと自慢のポイントを語ってくれました。



▲「どこで買ったのか忘れた」というヘッドライトも個性満点なポイントのひとつ。

▶ハンドル内にハーネスを通してスイッチをシンプルかつコンパクトに装着

バーベキューとキャンプ ノイズの楽しみのひとつです

グビグビ



▼クルマで牽引してくるタイプのキャンピングカーも大人気。これだとキッチンやベッドルームを準備する必要がないからラクチンですね。何百キロも離れた国から、何泊か泊まりながらノイズを目指してる人もいます。



▶「写真なんて撮ってないでオレ達と飲もうぜ」と、シュニツェル(トウカツみたいなカツ)とビールをふるまってくれたホットショットのメンバー。夜になるとDJがイイ音出していましたよ。

周辺各国とは地続きで、高速道路が無料なドイツだから、キャンプしながら旅するにはもってこい。さらに気候も汗かかない程度に暖かく(夜は冷え込むけど)、焚き火しながらビール飲むのが最高に気持ちいい。

◀ドイツと言えばビール。みんな昼から飲んでます。見ると水代わりに飲んでもみたくは見えますね。ちなみにビール大国ドイツだけあって、1~2杯くらいのビールは飲酒の検問に引っかからないそうです。



▲キャンプのベテランもイッパイいます。2日間過ごしても快適なように、タッパーの食材とビール。パッチリ張られたテントは必需品です。

▼ショットグラスでメチャクチャ強い酒をカンパいするのはモンキーガレージの面々。22時くらい。このころから酔って潰れて寝る人と、逆にテンションが上がって人にわかれま。



▲これだけハイエンドなアイテムが投入されていても、ヨーロッパは走ってナンボなんです。だからジャリの上でも走っても構いません。転んだら、なんてセッタイ考えてない走りでした。

THE
4MINI
WORLD
SURPRISING
DISCOVERY
vol.11
Germany



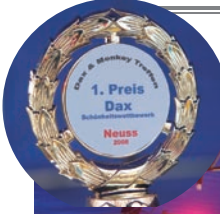
Owner
Thomas Geisler(Dax & Monkey tuning team)
<http://www.dax-monkey-tuningteam.de>

▼自らこのイベント会場内を走りまわってしまはどバイク好きなトーマス氏。それにしては、この未発表なアイテムを装着したマシン、ヨダレもんですわね。

あれれ~! なんでコレがあるんだ~!

ノイズが開催されたのは9月中旬。それなのに、キタコの4バルブヘッドやGクラフトのシングルサイドスイングアームKITが装着されてるモンキーを発見! キタコやGクラフトの代理店なので、このイベントの1週間前にパーツが届いたようです。シングルサイドスイングアームは製造番号001、つまり市販1本目ということだし、キタコさんもGクラフト(ギルドデザイン)さんも、ヨーロッパの市場もとても大切に考えてるって証拠ですね。もちろん、国内マーケットも大切にしていますから、みなさんご安心を。

'Dax-Monkey-tuning team' is an agency of Kitaco and G craft. It was a big surprise that they brought the Monkey which installed the single side swing arm made of G craft and the four valve heads made of Kitaco which both are not released in Japan yet. Because Kitaco and G craft send these latest parts to Europe faster, we can tell that they have a higher priority in European market.



なぜか、カスタムコンテストはDAXのみで開催されました

確かにヨーロッパはDAXとモンキーがダントツで人気ですが、なぜかカスタムコンテストはDAXだけで開催されました。20台程度のエントリーということで、小ぢんまりとしたコンテストでしたが、テレビ局まで取材に来るほど盛況で、トロフィーも用意されて盛り上がりましてよ。



◀2位にはドイツのRene Denti(39歳)が入賞。ゲイルスピード(ホイール)やOVERレーシング製マフラー、SP武川製ヘッドやWPの倒立フォークなど、走りも意識したアイデアタップリな仕上がりになりました。



▶優勝はベルギーから来たJeroen De Ryck(25歳・右)が獲得! なんと7年もかかったというメッキの深み、それになんと言ってもDAXの腰下を使用している点やTOKYOと書かれている点、オオニヒートマジック製マフラーやGクラフト製など、日本製パーツを多用して製作されました。



こんなDAXがエントリーしました

ホワイトリボンを装着し、ヨーロッパでは珍しいローダウン仕様や、気合の入ったイベントが魅力的な1台、サイドカー仕様やファルコン製ホイールがペイントされて目を引く仕様などなど、個性的なDAXが勢ぞろいしていました。



A DAX custom contest was held. The coverage of the television entered, too and which added to the fun. We Moto Champ participated as one of the judges as well. Championship was Jeroen (25) from Belgium. His DAX spent on chrome for seven years. It was Rene Denti (39) from Germany as for the second place. His custom menu was full of ideas, attaching Galespeed which is also popular in Japan, the muffler made by Over Racing, and the inverted front fork made by WP.

Speaking of Germany, it is all about a beer. They are cooking sausages or the schnitzels to accompany with beers. It is delightful atmosphere from daytime. Many participants camp out at the event site, and so there are drinking parties everywhere at night. Some teams bring in a real sound system and party until midnight.



Owner
Michael Kvgler
(48歳・ドイツ)

ビミョーに
乗りやすい
仕様です

大きな体格のミハエルさんは、4ℓモンキーをベースに88cc化してトルクを上げて、フロントフォークのストローク量やリヤショックのバネレート調整で自分が乗りやすい仕様仕上げています。マフラーやヘッドなどはSP武川製、キタコ製スイングアームを投入しています。



Owner
Matthijs Fokkens
(41歳・オランダ)

視察に来ていたGクラの松葉さんによると、ヨーロッパでは30φのNSRフォークが珍しいようで、このマシンもレアな30φフォークを装着しているもよう。スイングアームやホイールはGクラ製でBT30(120/70-12)を装着。OVERレーシング製マフラーやブレンボキャリパー、アルミタンクなど、けっこう気合入ってます。

Michael Kvgler(48/ Germany) Monkey (HONDA)
His Monkey installs the swing arm made of Kitaco and the muffler of SP Takegawa etc. The engine is 88cc which is also popular in Japan and has enough power.

Jochen Willius(41/ Germany) Monkey-R (HONDA)
He owned two Monkey-Rs which are rare in this event. Monkey-R is used in race of 4MINI in Japan and is very popular. His Monkey-R is tall, and so a large rider can get on easily.



Z50A(1972年)の新車です

なんでも左のブルーのモンキーはドイツ仕様で右のレッドはフランス仕様とのこと。いずれも新車のデッドストックで激レアなもの。彼らはベルギーのアントワープを拠点とするアントワープ・DAX・アソシエーションに所属しているようで、DAXのカスタムコンテストで優勝したのは左の彼です。

Owner
Jeroen
(左・ベルギー)
Jetty
(右・ベルギー)

It is Jeroen and Jetty from Belgium to have brought two brand-new Z50A. Z50A made in 1972 is a very high value, and also precious in Japan. They were members of DAX Association of Antwerp, and Jeroen was won the championship in this DAX contest, too.

Matthijs Fokkens(41/ Netherland) Monkey (HONDA)
This machine installs the front fork of unusual 30φ in Europe. The front fork of 30φ is very popular in Japan, but front forks made in Thailand are popular in the Europe. The front fork of 30φ is adopted in NSR50 and works splendid.



モンキーR
大好きです!

Owner
Jochen Willius
(41歳・ドイツ)

これまたイベント会場では珍しかったモンキーR。しかも2台も所有しています。こうして見ると、モンキーRもけっこうスバルタンなイメージに仕上がりますね。



パワーチェックと!
DJブースも全開です!

会場ではパワーチェックも行われていたり、夜になると本格的な機材のボリュームをアップして、ベルリンあたりで流行っているというテクノを流してゴキゲンな感じでした。

The power check had risen. Hot Shot Monkeys brought a real sound system in and offered the highest sound. Moreover, they offered me the highest beer.



Owner
Chris Johnson
(40歳・イギリス)

THE
4MINI
WORLD
SURPRISING
DISCOVERY
vol.11
Germany

イギリスのモンキーは 日本風メニューでまどめてます

日本の4MINIミーティングにいるような気分になってしまうほど、日本風なカスタマイズが目をつけた1台。イギリスからドーバー海峡を越えてやってきたクリスは、ヨシムラ製マフラーやSP武川製ヘッド、ブレンボキャリパーやGクラ製スイングアームなど。「いつもモト・チャンプと4MINIちゃんぶは見てるよ」というだけに、日本のテストをタブリ盛り込んだテストに仕上がってます。

Chris Johnson(40/ England) Monkey (HONDA)
The remodeling of this Monkey is very Japanese style. A lot of very good parts such as the muffler of Yoshimura or the swing arm of Gcraft are employed. There are a lot of such styles in Japan.

Marjan Votek (51/ Germany) Monkey (HONDA)
His Monkey attracted attention with a very novel style. The head of SP Takegawa is carried to a swing arm of Gcraft and an engine of Nice110. There is a character "候" written to the rear fender, but possibly may have wanted to write it as "猿" which means monkey.



ダートライメージ
テールの処理が
キモです

Owner
Marjan Votek
(51歳・ドイツ)

リアキャリアを取り外し、リヤタイヤには個別のフェンダーを装着して斬新なスタイルを作り上げたモンキー。エンジンはナイス110を搭載しSP武川製スーパーヘッドでフルチューン。アルミホイールや楕円のヘッドライトや超小型ウインカーなど、随所に見所タブリな仕様です。



▲車検の時期や国名が記されたナンバープレートは日本の倍くらいの大きさ。「候」のような文字は、「猿」と書きたかったそうです。

日本のメーカーさんも出展したり視察に来てました

C.F.POSH 東京の今岡社長自らがブース設営から店番までを担当。ノイズ体験が豊富な社長の感想は「小さなパーツでも材質にこだわっていて、みんな真剣ですね。それにみんな仲間であってライバル(マシンに関して)なんだけど、そんな仲間と夜には酒を飲んだりっていうのも楽しいし貴重な機会ですね。最近ではドイツの人たちも外見に力を入れてきているような変化が感じられますね」とのこと。



C.F.POSH
(Tokyo & Osaka)



KITACO (藤井さん・右 中村さん・左)
ノイズを視察にきていたキタコのお2人。まず藤井さんの感想は「日本にはないスタイルのイベントが新鮮です。ヨーロッパでは日本にないスタイルも求められているので、これから対応していきたい。今回初ノイズの中村さんは「みんな走るのが大好きで、走ってナンボっていうのが伝わりました。これからは日本特有のクオリティの高い製品をリリースしてヨーロッパでも人気になって欲しいですね」と語ってくれました。



ギルドデザイン(Gクラフト)
(松葉さん・左 寺井さん・右)
いろいろコメントをいただいたりと、取材も手助けしてくれた松葉さんは「新しいカスタムのヒントがあったので日本にも投入したいです。同じ4MINIファンは鈴鹿もノイズも変わらないですね。寺井さんは「みんなとにかく走って楽しんでますね。バイクそのものが好きって感じが伝わります。中国やタイ製品も多いので、日本製も頑張って売っていききたいです」という感想でした。

I compiled the impression of the Japanese parts makers. C.F.POSH People in Europe are very particular about the material and the quality even up to small parts. The tuning of engine was the most focus used but in the recent trend, also paid attention to the finish of the exterior. They are rivals in the content of remodeling though at the same time all people here are companions who have a common hobby named 4MINI. I think that they are in a very good relationship. Kitaco Nuess had many styles of the remodeling that Japan did not have and was stimulating. In Europe there are needs for the products which do not exist in Japan. I want to make the commodity that can satisfy their demands in the future. I want to develop many high-quality products peculiar to Japan. G craft found many hints for a new 4MINI custom in Nuess. I want to try to commercialize those in Japan. I thought it was wonderful that the Europeans respect that they run and also enjoy motorcycle itself.

古いクルマやバイクが優遇されるお国柄です

バイクで黒ナンバーの場合や、クルマでナンバーの末尾にHが入っているのは、オールドタイマーと言って30年以上前の、珍しい車種だけがもらえるナンバーで、排ガス規制を除外されたり、税金面などでも優遇処置が施されるそうです。いいお国柄ですね。



ホンモノの消防車を
トランポにしています



かつては消防車として使用されていたフォードを改造してトランポ兼キャンパーにしています。これまた30年以上前の希少なクルマなので、ナンバーの末尾にHの刻印が付いています。ちなみに後ろに牽引しているBOXはかつてホースなどを収納していたもので、今はモンキー積載スペースです。ちょうど2列目シートのあたりがキッチンで、その後ろが開閉式ルーフのあるベッドルーム。超カッコ良かったな。

A rare motorcycle 30 year olds or more can get a black number plate in Germany. In the case of a car, the number ends with 'H'. It seems to give preferential treatment on exhaust emissions regulations and the tax side when this number plate is acquired. Left Ford remodels the one used to use as a fire engine. In the front car there are a bedroom and a kitchen and Monkey was loaded in the trailer box. It is very cool.

黒ナンバーは
バイクのオールドタイマーです

この会場ですべて見かけた黒ナンバー。おそらく1970年くらいの輸出用Z50K2がベース車と思われる。ハンドルやオイルクーラー、マフラーやリヤフェンダーなど、いろいろ改造されていますね。

